

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●エリザベス女王杯はマリアライトがG I 初挑戦初制覇

11月15日(日)の5回京都市4日・第11レースとしておこなわれたエリザベス女王杯(G I)では、マリアライト(牝4歳/美浦・久保田貴士厩舎)がG I初挑戦で初勝利を飾りました。また鞍上・蛭名正義騎手(美浦・フリー)は阪神ジュベナイルフィリーズ、桜花賞、オークス、秋華賞、ヴィクトリアマイルと合わせ、「牝馬限定G I 完全制覇」を成し遂げました。これは武豊騎手に次いで史上2人目のこととなります。

●加藤征弘調教師がJRA通算400勝を達成

11月15日(日)の5回東京4日・第3レースではファイナルコールが1着となり、同馬を管理する加藤征弘調教師(美浦)は、現役44人目となるJRA通算400勝(3539戦目)を達成しました。

●田中勝春騎手がJRA通算1万8000回騎乗を達成

11月15日(日)の5回東京4日・第11レースとしておこなわれたオーロCでメイショウライナーに騎乗した田中勝春騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で、史上5人目、現役では4人目となるJRA通算1万8000回騎乗を達成しました。

●A. アッゼニ騎手、T. ベリー騎手がJRA初勝利をあげる

11月14日(土)の5回京都3日・第4レースではファンドレイザーが1着となり、同馬に騎乗したアンドレア・アッゼニ騎手(イギリス)はJRA初勝利(16戦目)をあげました。翌15日(日)の5回東京4日・第3レースではファイナルコールが1着となり、同馬に騎乗したトミー・ベリー騎手(オーストラリア)もJRA初勝利(10戦目)をあげました。

●H. ボウマン騎手に短期騎手免許交付

ヒュー・ボウマン騎手(オーストラリア)に対し、11月19日(木)から12月27日(日)を期間とする短期騎手免許が交付されました。身元引受調教師は栗東・池江泰寿調教師、身元引受馬主は吉田勝己氏で、今回がJRA初免許・初騎乗となります。

●フーラブライドの競走馬登録抹消

2014年ローレル競馬場賞山牝馬S(G III)などの勝ち馬フーラブライド(牝6歳/栗東・木原一良厩舎)は、11月18日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は39戦6勝で、今後は北海道白老町の(有)社台コーポレーション白老ファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●南部駒賞は人気の地元メジャーリーガー【各地の主要2歳重賞】

南部駒賞(11月15日、水沢、1600^円)は、メジャーリーガー(牡、父ブラックタイド)が逃げ切り勝ちを収め、単勝1.2倍の圧倒的支持に依って若鮎賞、若駒賞に次ぐ3度目の重賞制覇。九州ジュニアチャンピオン(10月25日、佐賀、1750^円)は、後方から大外を通過して追い込んだ5番人気のソウダイショウ(牡、父ゴールドヘイロー)がゴール前で差し切り、初勝利が重賞制覇となりました。知床賞(11月1日、盛岡、1400^円)は、後方から徐々に差を詰めた8番人気の北海道からの遠征馬リックカグラ(牡、父スウィフトカレント)が残り100^mで前を捉えて優勝。兼六園ジュニアC(11月1日、金沢、1500^円)は、2頭併走状態で逃げた3番人気のブライトエンプレス(牝、父ブラックタイド)が後続をクビ差振り切りました。平和賞(11月11日、船橋、1600^円)は、先手を取ったアンサンブルライフ(牡、父アジュディケーティング)が $\frac{3}{4}$ 馬身差で逃げ切り、1番人気に依っています。

●サウンドスカイらが参戦、11月25日の兵庫ジュニアグランプリ

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、園田、1400^円)は、ダート2戦2勝のサウンドスカイが中心、オデュッセウス、コウエイテンマ、マンジュリガールは初ダートの克服が課題となり、地方馬では4戦全勝のマイタイザン(兵庫)が注目です。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●ニュージーランド1000ギニーは3番人気のリスキーが快勝

NZ1000ギニー(G I、芝1600^m)は11月14日、リカートン競馬場(南島のクライストチャーチ郊外)に13頭を集めて行われ、3番人気のリスキー(牝3歳、父ダルシーブローマ)が好スタートから後方に控え、大外から鮮やかに差し切りました。これで6戦3勝、重賞初勝利。稍重馬場の勝ちタイムは1分35秒96。勝利騎手M. キャメロンと調教師S. オートリッジ&J. リチャーズは1週前のNZ2000ギニーをエクストラヴァガント(牡3歳、父ペンタイア)で圧勝しています。

●南アフリカの騎手チャレンジは南ア代表チームが優勝

南アの第8回騎手チャレンジ(国際選抜と南ア代表各6名の争い)はまず11月13日、ポートエリザベスのフェアビュー競馬場で、次いで14日にヨハネスブルクのターフフォンテン競馬場で争われ、各4レース、計8レースのうち5勝した南アチームが6回目の優勝を果たしました。最多得点は南アのA. デルベッシュ。国際選抜では、この11月7日の騎乗を最後に引退した英女性騎手のH. ターナーが2日目に1勝し、見せ場を作りました。